

## 日本の歴史地震と宗教の歴史（その4 現代）

田 久 昌次郎

The History of damaging Earthquakes and  
Religion in Japan (Part.4) : the Contemporary Period .

Shojiro TAKYU

2011年3月、東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）は東北地方太平洋沿岸に甚だしい震害とそれに伴う津波被害をもたらした。また、福島県は東京電力福島第一原子力発電所のシビアアクシデントによる放射能被害に苛まれている。

筆者は震災直後から、福島県南相馬市小高区の津波被害と神社の成り立ちについて調査を進めているが、その発端は、小高区の津波被害が区内総面積91.95km<sup>2</sup>の11.4%におよび、津波遡上高が最大6mに達した（南相馬市調べ）にも係わらず、域内の神社30箇所のうち津波被害を受けた神社は一箇所である事実を知ったからである。

神社あるいは宗教の成り立ちを理解することは、防災・減災の観点から、あるいは災害伝承の観点から、貴重な智恵と情報を提供するのではないかと考えている。そこで、日本で発生した主な歴史地震と宗教の歴史、さらには南東北太平洋岸地域の歴史（主に陸奥相馬氏に関わる事跡）を当初予定の2回から4回に増やし俯瞰する。本号では終戦直後の1945（昭和20）年8月～2017（平成29）年の72年を現代として収載している。この間の日本付近の地震記録を概観すると、M8.0以上は合計9回を数えるが比較的遠地の震央で、また昭和38年10月～平成6年10月までの31年間はM8クラス以上の大規模地震空白期間であったことが判る。海溝型の大規模地震は、活断層による直下型地震と異なり、地震予知においてその周期性が議論されている。日本の国土に住まう我々は、この72年間のデータからおおよそ6～8年に一度程度、日本の何処かで海溝型の大規模地震が発生することを覚悟しなければならないのかもしれない。

なお、本稿は、今後の研究の基礎的資料作成が目的であることを付記する。また、載録した歴史地震については、便宜上、通し番号を付けるとともにマグニチュード8.0以上が想定されたものはゴシックにて表記した。文末には有史以来の歴史地震の震央とマグニチュードを日本地図に表示し、引用資料を紹介した。





・ 龍見島町・牛久小学院設立：1920 (昭25.11.11) 年	・ 海川神社 (神戸市) 本殿再建奉告祭挙行：1950 (昭和25.12) 年	・ 東玉野 (相馬市) で火災：1950 (昭和25.11.11) 年
・ 龍見島町で火災：1961 (昭26.2) 年	・ 松尾神社 (京都市西京区) 松尾大社に改称：1950 (昭和25) 年	・ 大瀧村診療所開業：1950 (昭和25) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 武通9で火災：1951 (昭和26.2.14) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 新山町と長原村が合併し、徳富町 (現・双葉町) となる：1951 (昭和26.4) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 会津短期大学開学：1951 (昭和26.3) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 相馬で台風被害：1951 (昭和26.10.16) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 養護施設「中村学園」(八幡村坪田) 開設：1951 (昭和26.12.1) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 中村・宇多川町で火災：1951 (昭和26.12.28) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	●十勝沖鰈 2：1952 (昭和27.3.4) 相模鉄道社が津波で3000枚、三浦山神社で1200枚、21. 中島、養護施設に、半壊12枚、被災1枚
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 福島県立医科大学開設 (新制)：1952 (昭和27.4) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 若狭町合衆・合神子街道で台風被害：1952 (昭和27.4.1-3) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 双葉町立双葉養護林高校 (双葉養護学校を町に併設)：1952 (昭和27) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 中村・養護冷本堂落成：1952 (昭和27.5.7) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 原島町に厚生病院開設：1952 (昭和27) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 新地町に相馬高等学校養護科設置：1952 (昭和27) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	●カミ子ヤツカ半島沖鰈 2：1952 本学採用検査に試験 (3~24) 年216 (昭和27.11.5) 年216
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 双葉養護林高校 (富岡町) 県に参習され、浪江高等学校双葉養護部と改称：1953 (昭和28.3) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 常呂町が調整開設：1953 (昭和28) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 常呂新村、調子村が浪江町に合併：1953 (昭和28) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 相馬地方が常呂合併 (昭和29年以後)：1953 (昭和28) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 富岡駅前で火災：1953 (昭和28.10.20) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 相馬地方で台風被害：1953 (昭和28.9.26) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 原町市、相馬市 (市町合併)：1954 (昭和29.3) 年

3 2 代 志 記

・ 龍見島町・牛久小学院設立：1920 (昭25.11.11) 年	・ 海川神社 (神戸市) 本殿再建奉告祭挙行：1950 (昭和25.12) 年	・ 東玉野 (相馬市) で火災：1950 (昭和25.11.11) 年
・ 龍見島町で火災：1961 (昭26.2) 年	・ 松尾神社 (京都市西京区) 松尾大社に改称：1950 (昭和25) 年	・ 大瀧村診療所開業：1950 (昭和25) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 武通9で火災：1951 (昭和26.2.14) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 新山町と長原村が合併し、徳富町 (現・双葉町) となる：1951 (昭和26.4) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 会津短期大学開学：1951 (昭和26.3) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 相馬で台風被害：1951 (昭和26.10.16) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 養護施設「中村学園」(八幡村坪田) 開設：1951 (昭和26.12.1) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 中村・宇多川町で火災：1951 (昭和26.12.28) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	●十勝沖鰈 2：1952 (昭和27.3.4) 相模鉄道社が津波で3000枚、三浦山神社で1200枚、21. 中島、養護施設に、半壊12枚、被災1枚
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 福島県立医科大学開設 (新制)：1952 (昭和27.4) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 若狭町合衆・合神子街道で台風被害：1952 (昭和27.4.1-3) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 双葉町立双葉養護林高校 (双葉養護学校を町に併設)：1952 (昭和27) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 中村・養護冷本堂落成：1952 (昭和27.5.7) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 原島町に厚生病院開設：1952 (昭和27) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 新地町に相馬高等学校養護科設置：1952 (昭和27) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	●カミ子ヤツカ半島沖鰈 2：1952 本学採用検査に試験 (3~24) 年216 (昭和27.11.5) 年216
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 双葉養護林高校 (富岡町) 県に参習され、浪江高等学校双葉養護部と改称：1953 (昭和28.3) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 常呂町が調整開設：1953 (昭和28) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 常呂新村、調子村が浪江町に合併：1953 (昭和28) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 相馬地方が常呂合併 (昭和29年以後)：1953 (昭和28) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 富岡駅前で火災：1953 (昭和28.10.20) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 相馬地方で台風被害：1953 (昭和28.9.26) 年
・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 三浦山神社：1961 (昭26.2) 年	・ 原町市、相馬市 (市町合併)：1954 (昭和29.3) 年















<ul style="list-style-type: none"> <li>● 聖ニコライ記念堂 (東京都千代田区) 献堂式挙行: 1978 (昭和53.5) 年</li> <li>● 北海道神宮 (札幌市) 社殿再建: 1979 (昭和53) 年</li> <li>● 平安神宮本殿遷座祭: 1979 (昭和54.3) 年</li> <li>● 唐土寺 (長野市) 本堂で火災: 1979 (昭和54.8.23) 年</li> <li>● 四天王寺 (大津市天王寺区) 聖徳太子真容彫造法要挙行: 1979 (昭和54.10) 年</li> <li>● 東福寺 (京都市東山区) 願山堂一願師大遷居、願山三門舎遷設挙行: 1979 (昭和54.10) 年</li> <li>● 東大寺 (奈良市) 大仏殿昭和大修繕が完工、遷設法要挙行: 1980 (昭和55.10) 年</li> <li>● 西大寺 (奈良市) 光明殿遷設法要挙行: 1980 (昭和55.11) 年</li> <li>● 末自剎非イェス・キリスト教会、東京神輿 (東京都区) 建立: 1980 (昭和55) 年</li> <li>● 仁和寺 (京都市右京区) 金堂遷設法要挙行: 1981 (昭和56.1) 年</li> <li>● 薬師寺 (奈良市) 西塔遷設法要挙行: 1981 (昭和56.4) 年</li> <li>● 妙心寺 (京都市右京区) 御影堂遷設法要挙行: 1981 (昭和56.5) 年</li> <li>● 日蓮宗 (京都市) 今月(伏見) 1981 (昭和56.5.22-23) 年</li> <li>● 光明寺 (品川区) 法然上人立教開宗之像の序佛臨式挙行: 1982 (昭和57.4) 年</li> <li>● 長谷寺 (松江市) 弘法大師御影堂遷設法要挙行: 1982 (昭和57.5) 年</li> <li>● 聖母降誕堂 (鎌月寺、大津市) 遷設法要挙行: 1982 (昭和57.10) 年</li> <li>● 長谷寺 (松江市) 宗玉蔵の遷設法要挙行: 1982 (昭和57.10) 年</li> <li>● 善法神社 (羽生村)、山頂に真宮また日本一大きい御影堂建立: 1982 (昭和57) 年</li> <li>● 法隆寺 (奈良市東区) 120年ぶりに三蔵会挙行: 1983 (昭和58.2) 年</li> <li>● 善法寺 (南法華寺、奈良県高市郡) 「天竺流末大藏音石版」開創大法要挙行: 1983 (昭和58.3) 年</li> <li>● 傳神寺 (京都市左京区) 観音殿・母知院の遷設法要挙行: 1983 (昭和58.3) 年</li> <li>● 日吉山王本社 (大津市) 御神輿が約50年ぶりに比叡山以上に上る: 1983 (昭和58.4) 年</li> <li>● 四天王寺 (大阪市天王寺区) 聖徳太子ご臨仏遷座奉納式挙行: 1983 (昭和58.9) 年</li> <li>● 川崎大蔵耳聞寺 (川崎市) 八角五重塔竣工: 1983 (昭和58.10) 年</li> <li>● 日本海中部町: 7: 1983 (昭和58.8.26) 年</li> <li>● 青森県西方神町: 1: 1983 (昭和58.8.21) 年</li> <li>● 伊豆半島西宮町 (静岡県伊豆市) 1983 (昭和58.10.20) 年</li> <li>● 三宅島地震: 1983 (昭和58.10.31) 年</li> <li>● 伊豆半島湯原町: 1983-84 (昭和58.12-59.3) 年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宮城野中町: 4: 1978 (昭和53.6.12) 年</li> <li>● 長原島津町: 2: 1978 (昭和53.12.6) 年</li> <li>● 東洋育成園 (富岡) 開設: 1979 (昭和54.4) 年</li> <li>● 諏訪神社 (富岡本園) 社殿遷座: 1979 (昭和54.4) 年</li> <li>● 福島第一原発6号機運転開始: 1979 (昭和54.10) 年</li> <li>● 相馬地方で高層被害: 1979 (昭和54.12.24) 年</li> <li>● 瑞鳳寺瑞鳳殿 (仙台市) 再建: 1979 (昭和54) 年</li> <li>● 相馬地方常磐因幡、飯沼殿大: 1980 (昭和55) 年</li> <li>● 三浦沖町: 0: 1981 (昭和56.1.19) 年</li> <li>● 三浦沖町: 1: 1982 (昭和57.3.21) 年</li> <li>● 相馬地方で大雪: 1982 (昭和57.4.15-16) 年</li> <li>● 茨城県沖町: 0: 1982 (昭和57.7.23) 年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宮城野中町: 3: 1978 (昭和53.6.12) 年</li> <li>● 長原島津町: 2: 1978 (昭和53.12.6) 年</li> <li>● 東洋育成園 (富岡) 開設: 1979 (昭和54.4) 年</li> <li>● 諏訪神社 (富岡本園) 社殿遷座: 1979 (昭和54.4) 年</li> <li>● 福島第一原発6号機運転開始: 1979 (昭和54.10) 年</li> <li>● 相馬地方で高層被害: 1979 (昭和54.12.24) 年</li> <li>● 瑞鳳寺瑞鳳殿 (仙台市) 再建: 1979 (昭和54) 年</li> <li>● 相馬地方常磐因幡、飯沼殿大: 1980 (昭和55) 年</li> <li>● 三浦沖町: 0: 1981 (昭和56.1.19) 年</li> <li>● 三浦沖町: 1: 1982 (昭和57.3.21) 年</li> <li>● 相馬地方で大雪: 1982 (昭和57.4.15-16) 年</li> <li>● 茨城県沖町: 0: 1982 (昭和57.7.23) 年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宮城野中町: 3: 1978 (昭和53.6.12) 年</li> <li>● 長原島津町: 2: 1978 (昭和53.12.6) 年</li> <li>● 東洋育成園 (富岡) 開設: 1979 (昭和54.4) 年</li> <li>● 諏訪神社 (富岡本園) 社殿遷座: 1979 (昭和54.4) 年</li> <li>● 福島第一原発6号機運転開始: 1979 (昭和54.10) 年</li> <li>● 相馬地方で高層被害: 1979 (昭和54.12.24) 年</li> <li>● 瑞鳳寺瑞鳳殿 (仙台市) 再建: 1979 (昭和54) 年</li> <li>● 相馬地方常磐因幡、飯沼殿大: 1980 (昭和55) 年</li> <li>● 三浦沖町: 0: 1981 (昭和56.1.19) 年</li> <li>● 三浦沖町: 1: 1982 (昭和57.3.21) 年</li> <li>● 相馬地方で大雪: 1982 (昭和57.4.15-16) 年</li> <li>● 茨城県沖町: 0: 1982 (昭和57.7.23) 年</li> </ul>
---	--	--	--



<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 万福寺 (宇治市) 寄敷解体修理、落慶法要等行: 1989 (平成元. 5. 3) 年</li> <li>・ 永平寺東宮別院 (忍谷寺、東京港区) 仏堂・庫裏完成、落慶供養等行: 1989 (平成元. 3) 年</li> <li>・ 大塚町天國宮 (大塚市) 瓦葺葺竣工、奉告祭等行: 1989 (平成元. 4) 年</li> <li>・ 護国寺 (東京文京区) 新本坊柱高殿、落慶供養等行: 1989 (平成元. 5) 年</li> <li>・ 毛越寺 (平塚市) 本堂完成、落慶供養等行: 1989 (平成元. 6) 年</li> <li>・ 轉王寺 (東京台東区) 圓山堂全築: 1989 (平成元. 9. 4) 年</li> <li>・ 普光寺 (長野市) 本堂昭和の大修理完成、落慶法要等行: 1989 (平成元. 11) 年</li> <li>・ 都内三社 (墨田区) 由緒神社、甲野区永川神社、荏田区神明神社、同時焼火により全焼: 1990 (平成2. 3. 19) 年</li> <li>・ 石山寺 (大津市) 心経堂、落慶法要等行: 1990 (平成2. 3) 年</li> <li>・ 奈良県三社 (石川県多気町) 幸佐産神社、八幡神社、同時放水により全焼: 1990 (平成2. 7. 31) 年</li> <li>・ 護国寺 (東京台東区) 板重三十三観音札所落慶開帳800年記念大法要等行: 1990 (平成2. 10) 年</li> <li>・ 西本願寺 (京都市下京区) 願如宗主圓百回忌法要等行: 1991 (平成3. 4) 年</li> <li>・ カトリック山口サビエル記念聖堂 (山口市) 全築: 1991 (平成3. 9. 5) 年</li> <li>・ 石屋19号落慶により新高神社 (広島県廿日市市) 本殿などが完成: 1991 (平成3. 9. 27) 年</li> <li>・ 根草寺 (和歌山県岩出市) 圓眞興教大師入五〇年御遠忌記念落慶法要等行: 1992 (平成4. 3) 年</li> <li>・ 長寂山 (大津市) 國王殿竣工、落慶法要等行: 1992 (平成4. 4) 年</li> <li>・ 随心院 (東京市) 圓眞宗一千年記念法要等行: 1992 (平成4. 5) 年</li> <li>・ 新三輪国寺 (京都市南区) 八幡社新築しご神体八幡大菩薩遷座式: 2009年より新行: 1992 (平成4. 9) 年</li> <li>・ 百野神宮 (奈良県吉野町) 御縁百年記念大祭等行: 1992 (平成4. 9) 年</li> <li>・ 熊野本宮大社 (田辺市) 正遷座百年記念大祭等行: 1992 (平成4. 10) 年</li> <li>・ 圓原神宮 (福原市) 神皇感徳式: 1993 (平成5. 2. 4) 年</li> <li>・ 愛宕神社 (大分県佐伯市) 女人禁制解除: 1993 (平成5. 2) 年</li> <li>・ 仁和寺 (京都市右京区) などで放火事件: 1993 (平成5. 4. 25) 年</li> <li>・ 清水寺 (京都市東山区) 「堂の子日詣り」を120年ぶりに復興: 1993 (平成5. 8) 年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熊鷹村で日蝕水量1.93mm: 1989 (平成元. 6. 17) 年</li> <li>・ 福高市警舎で日蝕水量99mm、川内で923mm、鹿嶋で906mm: 1989 (平成元. 8. 6) 年</li> <li>・ 夏井川で洪水 (台風23号、小川藩内): 1989 (平成元. 8. 6-7) 年</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三輪神社. 1: 1989 (平成元. 11. 2) 基本調査 4. A. 表. 13. 3. 3. の記録を参照</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三輪神社. 5: 1993 (平成5. 1. 15) 西. 2. 巻頭84、本邦赤ブロー1の内部で発生した高さ約300mmの地震で、内外共に損傷がなかった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤電神社 (福岡市) 式年奉祝遷座祭等行: 1991 (平成3. 7) 年</li> <li>・ 平で時間雨量70mmを記録 (当科第1位): 1991 (平成3. 8. 3) 年</li> <li>・ 竹駒神社 (岩手市) 社殿竣工、遷座祭等行: 1993 (平成5. 9) 年</li> </ul>	



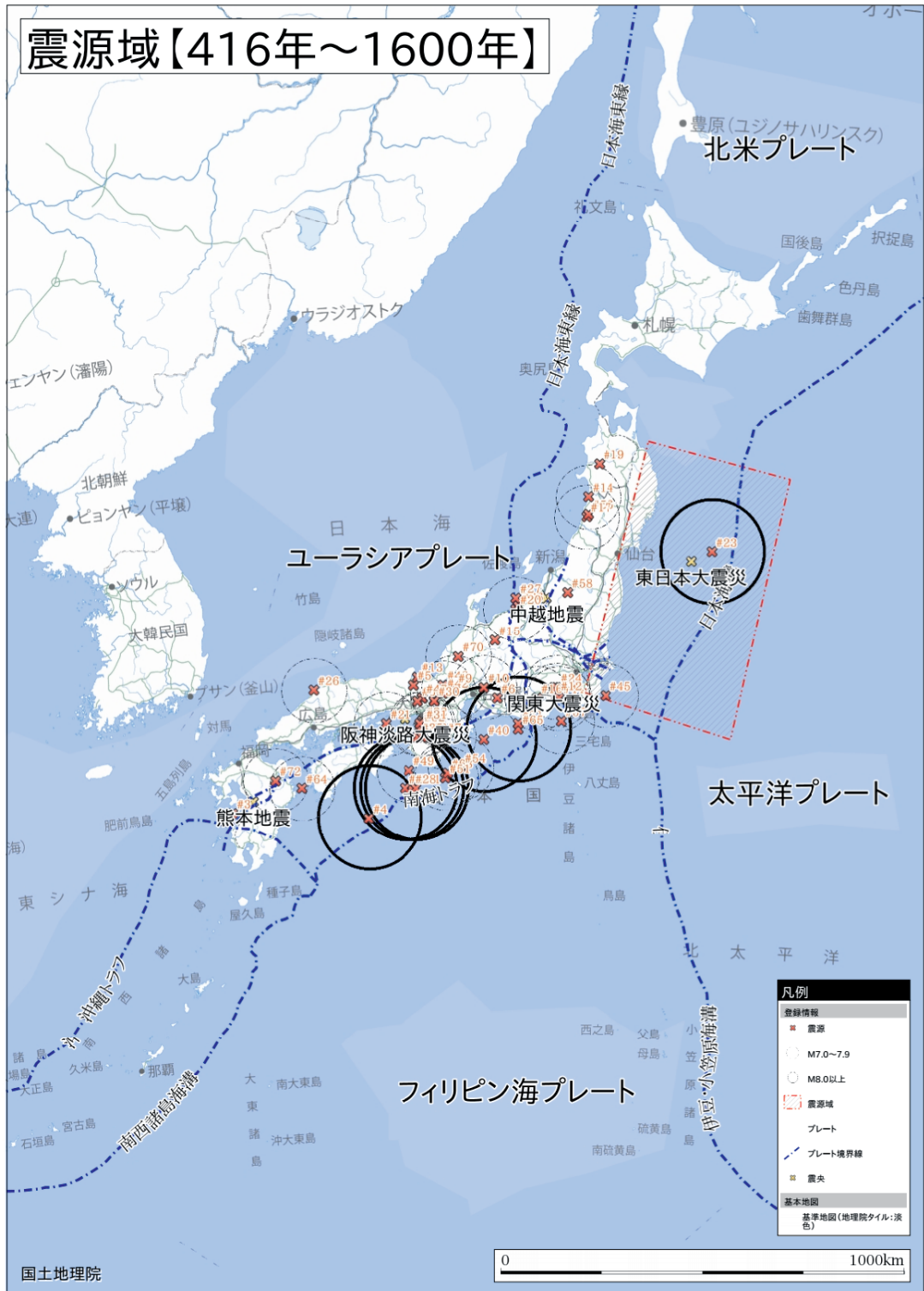






<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本願寺札幌別院(札幌市) 新築などで福と住居を承けた人の支援のため(さっぽろ恵け込み寺)開設: 2009 (平成21.2) 年</li> <li>● 普光寺(長野市)、6年に一度の「前立本尊御開帳」行方: 2009 (平成21.4) 年</li> <li>● 九州初のベネッセ「福岡マスコット」(福岡市) 開式式典挙行: 2009 (平成21.4) 年</li> <li>● 九州初のベネッセ「福岡マスコット」(福岡市) 開式式典挙行: 2009 (平成21.4) 年</li> <li>● 大谷本願(京都市東山区)で観音聖人750回木蓮忌法要挙行: 2009 (平成21.10) 年</li> <li>● パワースポットブーム起こる: 2010 (平成22) 年</li> <li>● 平城遷都1300年祭(奈良市): 2010 (平成22.4) 年</li> <li>● 浦上天主堂(長崎市)のマリヤ像(原爆犠牲者)初訪米: 2010 (平成22.4.5) 年</li> <li>● 明治神宮(東京都渋谷区) 創建90年大祭挙行: 2010 (平成22.10) 年</li> <li>● 伊勢神宮春祭客数過去最多860万朝: 2010 (平成22.12) 年</li> <li>● 父島近海7.8: 2010 (平成22.12.22) 年</li> <li>● 新巻岩(鹿児島県)噴火: 2011 (平成23.1.20) 年</li> <li>● シューティング・ボールパーク(福岡県)1. 2011 (平成23.2.20) 年</li> <li>● 東北三県での7.9を契機に、30ヶ寺が主催(日本仏教会議)で、本願が主催あるいは協力した神聖99社(神社本庁主催)で、全国145ヶ寺を言及する宗教が被災(日本基督教団調べ)</li> <li>● 東本願寺(京都市下京区) 観音聖人750回御誕生挙行: 2011 (平成23.4.5) 年</li> <li>● 西本願寺(京都市下京区) 観音聖人750回木蓮忌法要挙行: 2011 (平成23.4.6月、9-11月) 年</li> <li>● 仏教総合情報誌「輪谷ミュージアム」(京都市下京区) 開始: 2011 (平成23.4) 年</li> <li>● 神道・仏教・キリスト教合同による「道新祭復興祈願祭」挙行(静岡八幡宮): 2011 (平成23.4) 年</li> <li>● 平泉、世界遺産登録: 2011 (平成23.6) 年</li> <li>● 台湾12号により相野新誓大社(那智勝浦町) 社殿・金峯山寺(吉野町) 本堂・相野建玉大社(新富市)・本宮大社(田辺市)で被害: 2011 (平成23.9) 年</li> <li>● オウム真理教事件関連の裁判終結: 2011 (平成23.11) 年</li> <li>● 原発に関する宗教団体のメッセージ発信: 2011 (平成23.11月〜) 年</li> <li>● 島島近海7.0: 2012 (平成24.1.1) 年</li> <li>● 東北大、盛岡宗教師養成のための「宗教学部寄附棟」開講(3年間限定): 2012 (平成24.4) 年</li> <li>● 東北大、盛岡宗教師養成のための「宗教学部寄附棟」開講(3年間限定): 2012 (平成24.4) 年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 三陸沖7.3: 2011年 (平成23.3.9) 2275</li> <li>● 東日本大震災(3.11) 東270</li> <li>● 福島第一原発半壊20~30mm厚内出露指示: 2011 (平成23.3.12) 年</li> <li>● 福島第一原発半壊20~30mm厚内出露指示: 2011 (平成23.3.15) 年</li> <li>● 宮城県沖7.2: 2011 (平成23.4.7) 年</li> <li>● 高橋方7.0: 2011 (平成23.4.11) 年</li> <li>● 三陸沖7.3: 2011 (平成23.7.10) 年</li> <li>● 平成23年7月新潟・福島豪雨(会津地方で期間降水量700mm超): 2011 (平成23.7.27~30) 年</li> <li>● 1~3号原子炉圧力容器内の温度100℃未満となる: 2011 (平成23.9.28) 年</li> <li>● 緊急時避難準備区域の解除: 2011 (平成23.9.30) 年</li> <li>● 川内村が帰村宣言: 2012 (平成24.1.31) 年</li> <li>● 広野町、避難指示解除: 2012 (平成24.3.31) 年</li> <li>● 避難区域設定の見直し(帰宅困難区域、避難指示解除準備区域、避難指示解除準備区域、帰宅困難区域、避難指示解除準備区域): 2012 (平成24.4) 年</li> </ul>
--	--











## 引用資料

- 1) 国立天文台編、理科年表、丸善出版、東京、2014
- 2) 児玉幸多編、日本史年表・地図、吉川弘文館、東京、2013
- 3) 日本宗教史年表編纂委員会、日本宗教史年表、河出書房、東京、2004
- 4) 岩崎敏夫・佐藤高俊校訂、相馬藩世紀第一、続群書類従完成会、東京、1999
- 5) 岩崎敏夫・佐藤高俊校訂、相馬藩世紀第二、続群書類従完成会、東京、2002
- 6) 山田雄司著、跋扈する怨霊、吉川弘文館、東京、2007
- 7) 笹本正治著、鳴動する中世、朝日新聞社、東京、2000
- 8) 都司嘉宣著、千年震災、ダイヤモンド社、東京、2011
- 9) 畑中章宏著、天災と日本人、筑摩書房、東京、2017
- 10) 飯沼勇義著、仙台平野の歴史津波、本田印刷、仙台、2011
- 11) 高山宗東著、いま、東北の歴史を考える、総和社、東京、2011
- 12) 岩本由輝編、歴史としての東日本大震災、刀水書房、東京、2013
- 13) 田家康著、気候で読み解く日本の歴史、日本経済新聞出版社、東京、2013
- 14) 岳真也著、今こそ知っておきたい「災害の日本史」、PHP研究所、東京、2013
- 15) 安田政彦著、災害復興の日本史、吉川弘文館、東京、2013
- 16) 寒川旭著、歴史から探る21世紀の巨大地震、朝日新聞出版、東京、2013
- 17) 本渡章著、古地図が語る大災害、創元社、大阪、2014
- 18) 北原糸子著、日本震災史、筑摩書房、東京、2016
- 19) 保立道久・成田龍一監修、日本列島 地震の2000年史、朝日新聞出版、東京、2013
- 20) 保立道久著、歴史のなかの大地動乱、岩波書店、東京、2012
- 21) 磯田道史著、天災から日本史を読みなおす、中央公論新社、東京、2014
- 22) 倉地克直著、江戸の災害史、中央公論新社、東京、2016
- 23) 山田雄司著、怨霊とは何か、中央公論新社、東京、2014
- 24) Wikipedia、火災の年表、  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%81%AB%E7%81%BD%E3%81%AE%E5%B9%B4%E8%A1%A8#.E6.97.A5.E6.9C.AC>
- 25) 総務省消防庁Hp、平成19年度版消防白書「消防年表」、2007  
<https://www.fdma.go.jp/html/hakusho/h19/history/index.html>
- 26) 国土交通省気象庁Hp、震度データベース検索、  
<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>
- 27) 宗教情報センターHp、研究員レポート

- <http://www.circam.jp/reports/>
- 28) 宗教情報リサーチセンターHp、宗教記事年表（国内）  
[http://www.rirc.or.jp/xoops/modules/xxxxx02/index.php?start=0&order\\_item=xgdb\\_date&order=asc&order\\_item=xgdb\\_date&order=desc](http://www.rirc.or.jp/xoops/modules/xxxxx02/index.php?start=0&order_item=xgdb_date&order=asc&order_item=xgdb_date&order=desc)
- 29) 天変地異年表Hp  
<http://www.nagai-bunko.com/shuushien/tenpen/ihen00.htm>
- 30) 〔古代・中世〕地震・噴火資料データベース（β版）Hp、2009  
<http://sakuya.ed.shizuoka.ac.jp/erice/>
- 31) 千葉一族Hp「相馬氏」、千葉氏顕彰会、<http://chibasi.net/souma.htm>
- 32) 岡田清一著、中世相馬氏の基礎的研究、崙書房、千葉、1982
- 33) 防災情報新聞Hp、防災情報機構、<http://www.bosaijoho.jp/>
- 34) 富岡町史編纂委員会編、富岡町史 第1巻通史編、富岡町、福島、1988
- 35) 相馬市史編纂委員会編、相馬市史 1 通史編、相馬市、福島、1983
- 36) 森鎮雄著、ふるさとの歴史 奥州相馬、スミノ印刷出版、福島、1985
- 37) 新地町史編纂委員会編、新地町史 歴史編、第一法規出版、東京、1999
- 38) 小高町教育委員会編纂、小高町史、小高町、福島、1975
- 39) 小高史談会編、小高史談会誌、創刊号（1986）、第2号（1988）、第3号（1990）、第4号（1992）、第5号（1994）、第6号（1996）
- 40) 双葉町教育委員会編、双葉町災害史、平電子印刷所、福島、1984